

(様式2)

京丹後市都市拠点構想（案）の概要

1 趣旨

京丹後市都市拠点構想は、京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、令和3年から令和4年の2か年にわたり、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりを検討しました。

少子高齢化が進行しているなか、とりわけ若者世代に選ばれるまちづくりを進めるため、魅力ある都市拠点の形成とともに、市の均衡ある発展に向け多極ネットワーク型のまちづくりを進める必要があります。

このため、データ活用による基礎調査の結果に基づいて京丹後市の現状や課題等を把握したうえで、10年後20年後にどのようなまちになってほしいかをテーマに、ワークショップを通じて得られた市内中学生の意見や若者からの具体的提案を参考に、京丹後市都市拠点等の在り方検討会議で慎重に検討し、京丹後市都市拠点構想として策定しました。

今後、京丹後市都市計画マスタープランに掲げる用途地域の指定やこの構想をもとにした公共施設整備基本計画の策定など事業の具体化を図っていきます。

2 概要

(1) 構想の位置付け

京丹後市都市拠点構想は、第2次京丹後市総合計画及び京丹後市都市計画マスタープランに掲げる都市拠点について、対象範囲や目指す方向性、公共施設ゾーンの整備など都市拠点の形成に向けた構想として示します。

(2) 都市拠点における課題と方向性

若者ワークショップでの検討や中学生ワークショップでの意見、京丹後市の課題等を踏まえ、都市拠点における課題と方向性を整理します。

(3) 都市拠点の目指す姿

課題等を踏まえ都市拠点のコンセプト、ふさわしい機能、施設、交通結節点のイメージ等を設定します。

(4) 都市拠点の機能と役割、基本方針

都市拠点にふさわしい機能や役割、基本方針を整理します。

(5) 誘導方針

都市拠点の目指す方向性に掲げるエリアの形成に向けて誘導方針を示します。

(6) 公共施設ゾーンの整備方針

都市拠点の形成を図るため、公共施設ゾーンにおいて都市拠点にふさわしい役割や機能を担う公共施設の整備を進めます。

(7) 京都府総合計画

都市拠点の形成には京都府との連携が重要になります。

本都市拠点構想エリアには、京都府総合計画における京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクトの産業創造リーディングゾーンとして「丹後テキスタイル産業の集積拠点」の形成が構想されています。

(様式2)

(8) 公共交通網・広域ネットワーク

都市拠点の整備の効果を市全域へ波及させるとともに、市外との交流を促進するためには、公共交通網や広域ネットワークが重要であることから、課題等を整理します。